

部 局	都市活力部	補 職	部長	氏 名	高島 健司
-----	-------	-----	----	-----	-------

1. 部局の使命

「暮らしの舞台として選ばれるまちにする」定住・関係・交流人口の獲得に向けて、住まいに加え仕事や活動、学びや憩いなど、本市が「暮らしの舞台」として、市内外の多くの方々から支持され、選ばれるまちになるため、地域や民間との連携を強化しながら、体系的・総合的に施策を展開します。

2. 使命を遂行するための取り組み方針と、それに基づく取り組みの総括 方針取り組みの総括

方針	取り組みの総括
○次の3点を基本姿勢として、下記1～6の取り組みを進めます。 ・本市の地域資源と潜在力（交通インフラ、文化、スポーツ、産業資源等）を活かします。 ・多様な主体と連携し、ヒト・モノ・コトの交流、集積を促します。 ・新たな発見と価値を暮らしに提案し、分かりやすく伝えます。 1. 豊中の魅力の創出と発信 ・第3期豊中ブランド戦略に基づき、本市の持つ可能性と強みを最大限に引き出し、豊中ならではの魅力を創出・発信する取り組みを実践します。 2. 人と文化を育む創造性あふれるまちの推進 ・文化芸術推進基本計画に基づき、多様な主体との連携のもと、市民の文化芸術の振興とともに、文化芸術の力をまちづくりに活かす取り組みを進めます。 3. スポーツに親しむ機会の充実 ・第2期スポーツ推進計画に基づき、子どもたちをはじめ、市民のスポーツへの興味・関心を高め、親しむ機会の充実に図ります。 4. 大阪国際空港を活かしたまちづくりの推進と環境・安全対策の充実 ・空港周辺環境対策の充実に図るとともに、空港機能の利活用促進に取り組みます。 5. 産業のあるまちづくりの推進 ・安定した操業環境を整え、新たなチャレンジを支援するなど、中小企業の産業振興に係る取り組みを推進します。 6. 都市農業の振興 ・都市農業振興基本計画に基づき、都市農地の保全と活用を図る取り組みを展開します。	1. 豊中の魅力の創出と発信 ・市内各所でのストリートピアノコンサートのほか、東西軸活性化アクションプランに基づき、音楽やアートのイベント、スタンプラリーなどを実施し、積極的に本市の新たな魅力の創出と発信を図りました。 2. 人と文化を育む創造性あふれるまちの推進 ・0歳からのコンサートや星空ファミリーコンサート、ホールでオーケストラなどの事業を実施し、市民が音楽やアートなどの芸術に触れる機会の充実に取り組みました。 3. スポーツに親しむ機会の充実 ・アーバンスポーツ推進助成制度の創設やマルチスポーツ体験教室など、子どもたちがスポーツに触れ、親しむ機会の充実に図りました。また、豊中ローズ球場を改修し、高校野球発祥の地・豊中 ミュージアムを開設しました。 4. 大阪国際空港を活かしたまちづくりの推進と環境・安全対策の充実 ・新たな遅延便対策となる「夜間騒音抑制料制度」の導入につなげました。また、原田緑地の愛称を豊中つばさ公園「ma-zika」と決定し、建設工事とクラウドファンディングに着手するとともに、千里川土手の整備工事に着手しました。 5. 産業のあるまちづくりの推進 ・地域経済の好循環を図るため、プレミアム付デジタル商品券事業や新・産業振興ビジョンに基づく各種支援施策を実施し、市内事業者の事業活動の下支えに取り組みました。また、とよなかエコシステムの推進に向けた仕組みを構築しました。 6. 都市農業の振興 ・都市農業振興基本計画の中間見直しを策定しました。市民農業体験や市民農園の実施など、市民が農業に触れる機会などの取り組みを行いました。

3. 当年度目標と目標設定に対する振り返り等

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
1	豊中の魅力の創造と発信	(1)大阪・関西万博の取組み ・桜塚高校軽音楽部や大阪モノレールなどの万博PR活動の支援、万博関連イベントへのPRブースの出演 (2)東西軸の活性化 ・まちなかコンチェルン：ピアノ演奏等3回、参加者約200人、とよなかアート・ブリッジ：アート展示、マチカネポイントアプリを使ったデジタルスタンプラリー等の実施 (3)まちの魅力・価値を高める ①野点：まちあるき・説明会2回、野点2回、参加者132人 ②とよなかピアノ：コンサート11回、アートイベント1回、参加者935人 ③兄弟都市提携50周年記念式典開催、ロックフェス参加、全島エイサーまつり視察、産業まつり出展 ④姉妹都市派遣親善使節選考会開催（参加校4校、参加者6人） ⑤旭川市交流：音楽アーティスト招聘、山形市交流：交響楽団アンサンブル演奏会 ⑥高校生軽音フェス：来場者561人 ⑦助成金：交付団体（魅力アップ10団体、にぎわい20団体） ⑧魅力文化施設：万博企画展示等 ⑨デジタルフェス：来場者632人 (4)まちの魅力・価値を伝える ①市公式インスタグラムの活用（通年）	○サンマテオ市との交流については、大阪・関西万博を通じた国際交流プログラムの実施により、次世代につながる交流を促進します。 ○引き続き、まちの歴史や文化を発信・共有する事業を実施することにより、まちへの誇りや愛着の形成につなげていきます。
	第3期豊中ブランド戦略に基づき、次の視点を大切にしながら、取組みを進めます。 ・様々な人がつながり、新たな視点が生まれる出会いや交流、学びの機会の充実を図ります。 ・新たな試みを許容する、多様で寛容なまちの雰囲気づくりをめざします。 ・多様な媒体の活用とともに、”人から人へ”の発信を大切にします。 (1)大阪・関西万博の取組み 万博開催1年前を迎え、機運醸成を図る関連イベントの実施やPR等を行うとともに、万博開催中の催事実施に向けた準備・調整を進めます。 (2)東西軸の活性化〔拡充〕【重点】 東西軸活性化アクションプランに基づき、沿道の往来増加等につながる取組みを展開します。 (3)まちの魅力・価値を高める ①とよなか創造界隈アートプロジェクト（野点6月～11月） ②とよなかピアノ（通年） ③豊中市・沖縄市兄弟都市提携50周年記念事業〔新規〕【重点】（通年、式典11月3日） ④豊中・サンマテオ市姉妹都市交流事業（7月、1月） ⑤都市間交流事業（旭川市、山形市）〔拡充〕 ⑥高校生軽音フェスティバル（11月） ⑦助成金制度を活用した市民活動の取組支援（通年）（魅力アップ助成金・にぎわいづくり事業助成金） ⑧豊中駅前魅力発信事業（通年） ⑨デジタルアート推進事業（11月） (4)まちの魅力・価値を伝える ①市公式インスタグラムの活用（通年）		
	総合計画		
	4-2- (1) 都市の魅力と文化芸術の創造、歴史・文化資源の保全・活用を進めます		
基本政策			
30	東西軸（緑地公園駅周辺～曽根駅周辺～大阪国際空港周辺）の活性化	57	まちの魅力アップ

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
2	人と文化を育む創造性あふれるまちの推進	(1)文化芸術を活かしたまちづくり ①世界のしょうない音楽ワークショップ(6回)・音楽祭(1回)、参加者164人 ②豊中まつり：来場者約147,000人 (2)人材育成と文化芸術活動の支援 ①ホールでオーケストラ：小学校40校、3,769人・中学校12校、1,829人 ②こども園へのアーティスト派遣：2園 ③0歳からのコンサート：来場者580人 ④文化芸術振興助成金：交付8件 (3)音楽あふれるまちづくりの推進 ①とよなか音楽月間：まちなかクラシック、7会場、8公演、来場者611人 ②星空コンサート：2公演、来場者3,179人 ③B'z松本孝弘さん応援イベント：高校生軽音楽フェス、来場者561人 (4)地域資源の活用と発信 ①西田王堂展、来場者1,655人 ②所蔵作品の貸出 ③美術展：応募者362人、入選262人、来場者2,915人・文芸祭：来場者1,108人 (5)文化芸術環境の充実 ①ローズ文化ホール特定天井等改修工事実施 ②文化芸術センター中ホール舞台吊物機構設備改修工事準備 ③文化芸術センター中ホール雨漏り対策改修工事準備 ④文化芸術センター大ホール舞台機構機器更新	○小学校・中学校のホールでオーケストラや0歳からのコンサート、こども園へのアーティスト派遣など、次代を担う子どもたちが文化芸術に親しみ、楽しむきっかけとなる機会の充実に取り組んでいきます。 ○2025大阪・関西万博に向け、これまでの文化芸術の枠にとらわれず、デジタルアートなどの新たな文化芸術の形についても市民に周知する取組みを実施していきます。
	文化芸術推進基本計画に基づき、多様な主体との連携により次の取組みを進め、アーティストや参加者とのつながりを深めながら、創造性あふれるまちづくりを進めます。 (1)文化芸術の力を活かしたまちづくりの推進 ①世界のしょうない音楽ワークショップ・音楽祭(11月～2月) ②豊中まつり(10月) (2)人材の育成と文化芸術活動の支援 ①小・中学生舞台芸術体験事業「ホールでオーケストラ」(1月・2月) ②こども園へのアーティスト派遣(10月～、年間8回程度) ③0歳からの親子コンサート(7月)〔拡充〕 ④文化芸術振興助成金(通年) (3)音楽あふれるまちづくりの推進 ①とよなか音楽月間(10月～11月) ②星空コンサート(8月)〔新規〕 ③名誉市民B'z松本孝弘さん応援イベント(5月)〔新規〕 (4)地域資源の活用と発信 ①市所蔵作品展(6月) ②市内事業者への市所蔵作品の貸出(通年) ③美術展〔70周年〕・文芸祭(11月) (5)文化芸術環境の充実 ①ローズ文化ホール特定天井等改修工事(令和6年1月～令和7年3月) ②文化芸術センター中ホール舞台吊物機構設備改修工事準備 ③文化芸術センター中ホール雨漏り対策改修工事 → ②③(令和6年4月～準備 ⇒ 令和7年4月～8月工事予定) ④文化芸術センター大ホール舞台機構機器更新業務 (令和6年3月発注 ⇒ 令和7年3月工事完了予定)		
	総合計画		
	4-2- (1) 都市の魅力と文化芸術の創造、歴史・文化資源の保全・活用を進めます		
	基本政策		
	53 文化芸術を活かしたまちづくり		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
3	スポーツに親しむ機会の充実 第2期スポーツ推進計画に基づき、以下の取組を進めます。 (1) すべての市民がスポーツに親しむ機会の充実 ① 4つの大学と屋内体育施設指定管理者によるマルチスポーツ(様々な競技スポーツ)体験教室の実施(7月～、市内4体育館で各年間8回程度) [新規] ② 運動部活動の地域移行(通年) ③ ラジオ体操やウォーキングの推進(ラジオ体操:通年、ウォーキング10月、3月) (2) スポーツを活かした魅力あるまちづくり ① グリスポピア2024(月1回程度、メインイベントは10月、グリーンスポーツセンターを拠点としたスポーツとアートの祭典) (3) アーバンスポーツ推進助成制度による新たなイベント実施 [新規] (4) 施設の機能更新等 ① 豊中ローズ球場改修工事(～令和6年(2024年)11月末) 高校野球発祥の地・豊中 ミュージアムの開設、クラウドファンディングの実施 [新規] ② 庄内体育館空調設置等改修工事(～令和7年(2025年)3月中旬) ③ 豊島温水プール改修工事实施設計 [新規] (5) 学校跡地の暫定利用 学校跡地利用が決まるまでの間、地域スポーツを振興するため、施設を管理し、体育館及び運動場を地域に開放するなど利活用を図ります。 ① 旧野田小学校 ② 旧さくら学園中学校	(1) すべての市民がスポーツに親しむ機会の充実 ① マルチスポーツ体験教室・武庫川女子大学、大阪成蹊大学、立命館大学、流通科学大学の協力。参加者合計173人 (2) スポーツを活かした魅力あるまちづくり ① グリスポピア2024(通年)・サイエンスラボ、巨大シャボン玉でアートを体験、ブレイキン体験会などを実施 (3) アーバンスポーツ推進助成制度:2団体(ジャンプロープ、ストリートサッカー) (4) 施設の機能更新等 ① 豊中ローズ球場改修工事:令和6年12月竣工。高校野球発祥の地・豊中ミュージアム開設。クラウドファンディング229万2千円、企業版ふるさと納税30万円獲得 ② 庄内体育館空調設置等改修工事:令和7年(2025年)3月竣工 ③ 豊島温水プール改修工事实施設計:入札不調のため令和7年度実施予定 (5) 学校跡地の暫定利用 従来の学校校庭開放事業に準じた形で開放。跡地暫定利活用事業や消防訓練等で活用したほか、施設の維持管理を実施	○マルチスポーツ体験教室は、令和8年度(2026年度)以降は屋内体育施設の指定管理業務に位置づけ、公民学連携の事業として発展させていきます。 ○各体育館でスポーツ推進委員協議会によるニュースポーツデーを開催します。参加者が少ない体育館への参加促進や、低年齢層へ訴求するための情報発信を行います。 ○学校跡地の利活用として、旧野田・庄内小、旧庄内さくら学園中を継続して管理します。 ・豊島温水プール改修工事实施設計に着手します。 ○豊島公園庭球場人工芝張替え工事を実施します。 ○グリーンスポーツセンターの賑わいづくりのため、グルispopia2025として、引き続き、大学や指定管理者、企業、地域団体と連携し、様々なイベントを開催します。
	総合計画		
	4-2- (3) スポーツにふれる機会の創出とスポーツ施設の環境整備を進めます		
	基本政策		
	52 スポーツを活かしたまちづくり		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
4	大阪国際空港を活かしたまちづくりの推進と環境・安全対策の充実	(1) 航空機騒音に対する空港周辺対策 ・遅延便対策について、関係機関や地元住民との意見交換を重ね、次年度からの「夜間騒音抑制料制度」の導入につなげました。(通年) (2) 空港機能の利活用促進 ・新たな交流事業として、萩・石見空港での「大阪国際空港－萩・石見空港運航初便歓迎イベント」への職員派遣や益田市での本市と益田市の職員交流事業などを実施(8月) ・活性連において、空港及び空港周辺地域のPR冊子の改訂版を作成(3月) ・国際便や国内長距離便の発着回数の規制緩和などの利便性向上についての要望(5、7、8月) (3) 空港周辺地域の整備と利活用促進 ・ふるさと納税返礼品：空港見学ツアーを3回実施 ・原田緑地整備建設工事に着手(9月)、クラウドファンディング開始(8月)、愛称を選定(10月) ・千里川土手原田地区かわまちづくり計画の登録(8月)、千里川土手右岸整備工事着手(1月) (4) 共同利用施設の再編及び利便性の向上 ・庁内での検討会議、共同利用施設への照明器具のLED化やWi-Fi機器の導入などの機能更新を実施	○新たに実施される遅延便対策の効果検証や徴収した「夜間騒音抑制料」を活用した空港周辺対策について、関係機関との協議や地元住民との意見交換を重ねます。 ○野球交流や物産販売、伝統芸能の公演、就航都市事務担当者会議等の就航都市交流事業を実施します。 ○就航都市のPRパンフレットのデジタル化を図り、PR効果及び機会を充実させます。 ○活性連を通じた活性化イベントや新たな活性化事業に取り組みます。 ○国際便や国内長距離便の規制緩和などの利便性向上について、関係機関に要望するとともに、関係機関との調整を進めます。 ○原田緑地の建設工事を進め、一部を開園します。 ○一部開園に向けて、様々な準備業務を行うとともに、一部開園に伴う式典やイベントを実施します。 ○千里川土手の整備を進め、一部を供用開始します。 ○トイレトラックを緑地内に設置するとともに、緑地帯独自の出入口を整備し、緑地の利用環境を向上させます。 ○学校やこども園の再編に伴う共同利用施設の再編を進めます。
	(1) 航空機騒音に対する空港周辺対策 ①低騒音機材の導入促進などの環境・安全対策について、関係機関への要望を継続します。(8月) ②さらなる遅延便対策について、関係機関と協議するとともに、地元調整を行います。(通年) (2) 空港機能の利活用促進 ①就航都市との交流を促進するため、引き続き野球交流や物産販売、伝統芸能の公演、クラダシチャレンジ、就航都市事務担会議等を実施します。(通年) ②引き続き国際便や国内長距離便の運航制限の緩和などの利便性向上について、関係機関に要望します。(8月) (3) 空港周辺地域の整備と利活用促進 ①引き続きJALや近隣自治体と連携し、内容の充実を図りながら、ふるさと納税返礼品となる空港見学ツアーを実施します。(通年) ②原田緑地整備・管理運営事業を進めるため、基本・実施設計を行い、建設工事に着手するとともに、開園に向けて、クラウドファンディングや愛称募集、ホームページやリーフレットの作成などの準備業務を行います。(通年) ③千里川土手の整備に向けて、かわまちづくり計画を申請し、さらなる関係者間の協議を進めます。(通年) (4) 共同利用施設の再編及び利便性の向上 ①地域コミュニティ拠点施設の再整備に向けて、庁内での検討会議を重ねるとともに、学校やこども園の再編に伴う共同利用施設の再編を進めます。(通年)		
	総合計画		
	3-1- (3) 環境汚染防止対策など生活環境の改善を進めます		
基本政策			
	51 空港を活かしたまちづくり		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
5	産業の集積をつくる	(1) 重点エリアの拡充に向け、住宅の立地がない複数のエリアにおいて、地権者情報の調査を行い、地権者数が少なく比較的交渉が進めやすいエリアを選定しました。候補地に立地する事業者を訪問し、重点エリアへの理解促進及び合意形成に向けた取組みを行いました。 (2) 市全域における本社機能の立地についての支援施策や多様な都市機能の誘導を図るため、商業地域等、特に千里中央地区における商業・オフィスビルや宿泊施設の立地を促進するための制度立案を行いました。	○新たな重点エリアの指定に向けて、優先度の高い候補地での事業者や地権者への訪問等を継続し、合意形成に向けた取組みを行います。 ○更なる域内産業の活性化による地域経済の発展を進めるため、大阪国際空港周辺地区でのホテル機能などの誘導、千里中央地区での商業施設や高次都市機能の維持・充実などを目的とした新たな企業立地促進補助制度の設計を進めます。
	新・産業振興ビジョンに基づき、下記の取組みを推進します。 (1) 重点エリア拡大に向けた調査(通年) 産業誘導区域への企業立地の取組みを推進するため、重点エリアの拡大に向けた検討、調整を進めます。 (2) 企業立地対象エリア・業種の拡大策の検討及び立案 多様な都市機能の誘導を図るため、商業地域等において、ホテルや本社機能等の立地を促す仕組み・制度設計に向けた調査検討を行い、制度を立案します。		
総合計画			
	3-5- (1) 地域産業を支援し、投資・消費・働く場が活性化するための体制をつくります		
基本政策			
	54 産業誘導区域の集積推進	55	域内産業の活性化

当年度目標(当初設定)		実績	
No	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
6	地域経済の好循環をつくる	(1) 地域経済の好循環を生み出す取組みの推進	○デジタル地域ポイント事業のチャージ・決済還元キャンペーンが約4か月(6月25日～10月20日、決済還元キャンペーンは～9月25日)で終了。来年度は1年を通して流通額の平準化を図るため、チャージ期間を前後期に分けて実施します。
	新・産業振興ビジョンに基づき、以下の取組みを推進します。	①プレミアム付デジタル商品券の発行(子育て応援ポイント含む): 総額20億7千900万円分(3月3日～5月31日)、デジタル地域ポイント事業チャージ実績(プレミアム含む): 総額10億5千万円、決済還元キャンペーン実績: 総額5千万円	○人材確保促進補助の補助対象を今まで活用してこなかった人材を活用するための研修に拡充するなど、制度の拡充を図ります。
	(1) 地域経済の好循環を生み出す取組みの推進	②売上アップ応援金交付決定: 49件	○来年度はとよなかエコシステム推進のため、市外事業者も対象とした子育て支援サービス事業補助金を新設し、市内における新たな子育て支援サービス事業の創出を推進します。
	①デジタル地域ポイント事業の推進[決済ポイント還元事業及びチャージの実施(5月)、民間資金を活用したマチカネポイント付与やデジタルクーポンの発行(通年)など][拡充]【重点】	③商品高付加価値化応援金交付決定: 30件	○旧島田小学校跡地利活用は公募要件や仕様を再検討し、来年度改めて運営事業者の公募を実施します。
	②売上アップ応援金(通年)	④展示会等出展支援補助金交付決定: 33件	○事業拡大や事業成長をめざす事業者を対象にした少人数制スクール型企业支援プログラムBiz CampAcceleration Program Toyonakaは今後も継続して実施し、スタートアップ創出につながる環境の整備を推進します。
	③商品高付加価値化応援金(通年)	⑤ITコンシェルジュ派遣: 240回、IT化促進補助金交付決定: 47件	
	④展示会等出展支援補助金(通年)	⑥チャレンジ事業補助金採択件数: 8件	
	⑤ITコンシェルジュ派遣・IT化促進補助金(通年)	⑦人材確保促進補助金交付決定: 35件	
	⑥チャレンジ事業補助金拡充(子育て支援サービス事業創出枠など)(4月)	⑧運営事業者の公募⇒選定見送り	
	⑦人材確保促進補助金拡充(副業人材に係る業務委託費を対象に追加など)(通年)	⑨市内農家の野菜を販売	
	⑧旧島田小学校跡地を活用した産業振興施設の運用(3月)[新規]	(2) スタートアップ企業等への支援の充実	
	⑨第一庁舎の地下食堂スペースの活用[新規]	①シェアード会員5事業者、フリーシート会員7事業者、交流事業: 11回、セミナー開催: 12回、特定創業支援事業支援修了者: 37名、相談: 261件	
	(2) スタートアップ企業等への支援の充実	②Biz Camp Acceleration Program Toyonaka開催: 全6回(参加者数: 12人)	
	①とよなか起業・チャレンジセンター機能の充実(フリーランス支援の実施、交流の場づくり、土業による相談事業など)(通年)	(3) 民間企業の災害対応支援	
	②アントレプレナーシップ養成に向けた取組みの実施	「事業継続力を強化する方法を伝授する企業防災セミナー」開催(11月7日)	
	(3) 民間企業の災害対応支援		
	「事業継続力強化支援計画」に基づき、豊中商工会議所と連携の上、セミナー開催や専門家派遣などを通じた小規模事業者等へのBCP策定支援(通年)		
総合計画			
3-5- (1)	地域産業を支援し、投資・消費・働く場が活性化するための体制をつくります		
基本政策			
21	民間企業の災害対応支援	50	デジタル地域ポイントの導入
56	スタートアップ企業等への支援の充実		

No	当年度目標(当初設定)		実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール		取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
7	都市農業の振興		(1) 市民農業体験事業 ①サツマイモ栽培体験参加者：大人46人、子ども33人 ②たまねぎ栽培体験参加者：大人36人、子ども23人 ③年間自作体験の施行：3組が参加 (2) 地産地消の一層の推進 ①レストランの食材として出荷 ②朝市の定例実施(9か所) ③農業祭等で農産物の即売会を実施 ④たまねぎ等を給食食材として活用 (3) 市民農園の開設 ①不耕作状態の農地所有者に対して市民農園化への働きかけを行いました。 ②現オーナーに対して課題等のヒヤリングを実施 (4) 都市農業振興基本計画の中間見直し ①プロポーザル実施により事業者選定(5月) ②農業者へのヒヤリング調査(8月)と市民農園利用者にアンケート調査(9月)を実施 ③都市農業振興基本計画審議会(3回開催) ④庁内意見募集(12月)、パブリックコメント(2月)を実施	○朝市やイベント、学校給食における市産農産物の消費拡大や農業体験や市民農園利用など都市農地に求められる多様な機能の促進が図られた一方で、農業者の高齢化や担い手不足に起因する生産力の低下等により、新たな人材の確保や生産物の販路確保といった営農継続の安定化に課題が残っています。 ○現行の都市農業振興基本計画の基本的方向性を踏襲し、既存農家への支援を基本としながらも農家以外の新たな担い手の確保、育成に重点を置いた取組みを進めていきます。
	都市農業振興基本計画の基づく取組みの推進			
	(1) 市民農業体験事業 ①サツマイモ栽培体験(5月～10月) ②たまねぎ栽培体験(11月～3月) ③新規就農や農業ボランティア輩出を目標とした年間自作体験の試行実施(4月～3月)			
	(2) 地産地消の一層の推進 ①事業者による地元農産物の利活用促進(通年) ②市内公共施設等における朝市等の実施(通年) ③農業祭等のイベントにおける地元農産物の即売会実施(通年) ④学校給食食材における地元農産物の活用(通年)			
	(3) 市民農園の開設 ①農地所有者への事例紹介、アンケート実施(通年) ②現市民農園実施者(農地所有者)との意見交換会(通年)			
	(4) 都市農業振興基本計画の中間見直し ①計画策定事業者の選定(プロポーザル実施)(4月～5月) ②市民、農業者へのアンケート調査(～7月) ③都市農業振興基本計画審議会(通年) ④庁内意見募集、パブリックコメントの実施(1月～2月)			
総合計画				
	3-1-(2)	自然環境や都市のみどりを身近に感じられる取組みを進めます		
基本政策				
	59	地産地消の推進		

No	当年度目標(当初設定)	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
8	人づくり・組織づくり	○フリーアドレスを推進することにより、係を超えた職員間の情報共有・意見交換を促進し、業務に必要な知識や経験を獲得、蓄積しました。 ○係ごとの業務の進捗確認や、補職者にて課内全体の進行状況を共有するなど、日常的にミーティングを実施することで、コミュニケーションを図り連携・協力して事業に取り組みました。	引き続き組織として取組み組み方針を実践できる職員を育成し、仕事の質・成果の向上につなげるよう、風通しのよい職場環境整備に取り組めます。
	都市活力部の使命を遂行するため、取組み方針を実践できる職員を育成し、組織としての仕事の質・成果の向上につなげます。 そのために必要な育成に係る基本的な方針は次のとおりです。 ○職員一人一人のパフォーマンスを高める取組みを実践します。 ・上司と部下、同僚が相互に話しやすい職場風土をつくり、積極的に意見を言い合えるコミュニケーションにより、職場の活力を引き出しPDCAサイクルの促進とエンゲージメントの更なる向上につなげます。 ○職場のメンバーシップ（リーダーシップ、フォロワーシップ）を高める取組みを実践します。 ・職員一人一人が役割を理解し、主体的かつ積極的な行動と他の職員へのサポートすることで、職場の一体感が増し、業務の円滑化と成果につなげます。		
総合計画			
5-2-	(1) 公正で効果的・効率的な市政運営を進めます		
基本政策			
65	職員力を高める人材育成等の推進		

4. 中期目標(概ね今後4年間)

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など		スケジュール(工程)	
1	豊中の魅力の創造と発信		○継続して実施	
	第3期豊中ブランド戦略に基づく取組みの推進 様々な出会いや交流、学びの機会を通して、仲間や地域とともに、一人ひとりが自分らしい暮らしを育み、創造できるまちの実現を通して、「暮らしの舞台」として本市が選ばれることをめざします。 (主な目標値) ①今後も住み続けたいと思う市民の割合令和5年：86.6%⇒増加（令和9年） ②社会増加数 流入人口：19,861人（令和4年）⇒増加（令和9年） 流出人口：19,575人（令和4年）⇒減少（令和9年） ③関係人口増加数 ふるさと納税等の豊中市外からの寄附件数 7,069件（令和4年）⇒増加（令和9年）		○令和6年度（2024年度） ①豊中市・沖縄市兄弟都市提携50周年記念事業 ②大阪・関西万博機運醸成事業 ③東西軸活性化アクションプランに基づき、東西軸エリア周辺でにぎわいづくり事業を展開（～令和7年度（2025年度）） ○令和7年度（2025年度） ①大阪・関西万博事業 ○令和8年度（2026年度） ①豊中市市政施行90周年記念事業	
	総合計画			
	4-2- (1)	都市の魅力と文化芸術の創造、歴史・文化資源の保全・活用を進めます		
基本政策				
	30	東西軸（緑地公園駅周辺～曽根駅周辺～大阪国際空港周辺）の活性化	57	まちの魅力アップ
2	市民の文化芸術の振興		○継続して実施	
	文化芸術推進基本計画に基づく取組みの推進同計画に基づき、具体的施策を総合的に展開し、人と文化をはぐくむ創造性あふれるまち豊中の実現をめざします。そのために以下の点を重視し、取組みを進めます。 ①住宅都市・豊中の歴史や価値が息づく地域資源の積極的な活用 ②多様な主体との連携により、様々な分野に文化芸術を活かす ③次代を担う子どもたちへの積極的なアプローチ ④文化芸術センターを活用した取組みの推進 (主な目標値) ①本市を文化的なまちと思う市民の割合 令和5年67.6%（速報値）⇒ 令和9年：増加 ②文化芸術センター（ホール）利用率 令和4年：84% ⇒ 令和9年：85%		○令和6年度（2024年度） ①ローズ文化ホール特定天井等改修工事 （令和6年1月～令和7年3月） ②文化芸術センター中ホール舞台吊物機構設備改修工事準備 ③文化芸術センター中ホール雨漏り対策改修工事準備 → ②③（令和6年4月～） ④文化芸術センター大ホール舞台機構機器更新業務 （令和6年3月発注 ⇒ 令和7年3月更新完了） ○令和7年度（2025年度） ①文化芸術センター中ホール舞台吊物機構設備改修工事 ②文化芸術センター中ホール雨漏り対策改修工事 →①②（令和7年4月～8月）	
	総合計画			
	4-2- (1)	都市の魅力と文化芸術の創造、歴史・文化資源の保全・活用を進めます		
基本政策				
	53	文化芸術を活かしたまちづくり		

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など		スケジュール(工程)	
3	第2期スポーツ推進計画に基づく取組みの推進		○継続して実施 ○令和6年度（2024年度） 《工事等》＊豊中ローズ球場改修工事（10月末頃） ＊庄内体育館空調設置工事（2月中旬頃） ＊豊島温水プール改修工事実施設計 《学校跡地管理》・旧野田庄内小学校 ・旧さくら学園中学校 ○令和7年度（2025年度） 《工事等》＊豊島温水プール改修工事 ＊豊島公園庭球場人工芝張替え工事 ＊マルチグラウンド人工芝化設計 《学校跡地管理》・旧野田庄内小学校	
	（1）第2期計画に基づき、市民のスポーツ振興にむけた様々な事業を展開します。			
	（2）豊中ローズ球場の改修をはじめ、計画的に施設の機能更新等を準備・実施します。			
	（3）学校跡地の暫定利用 学校跡地利用が決まるまでの間、地域スポーツを振興するため、施設を管理し、体育館及び運動場を地域に開放するなど利活用を図ります。 ・旧野田庄内小学校 ・旧庄内さくら学園中学校			
総合計画				
	4-2-（3）	スポーツにふれる機会の創出とスポーツ施設の環境整備を進めます		
基本政策				
	52	スポーツを活かしたまちづくり		
4	空港を活かしたまちづくりの推進と環境・安全対策の充実		○令和6年度（2024年度） ①遅延便対策の協議 ②原田緑地基本設計完了、実施設計及び建設工事着手 ○令和7年度（2025年度） ①原田緑地一部開園（8月） ②千里川土手護岸工事着手 ○令和8年度（2026年度） ①原田緑地全面開園（3月） ○令和9年度（2027年度） ①千里川土手にぎわい施設工事着手	
	（1）環境・安全対策をはじめ、関西3空港懇談会など空港を取り巻く情勢の今後の動向や航空需要を見極めながら、国際便や国内長距離便の運航制限の緩和など、利便性向上に資する関係機関への要望を継続します。			
	（2）新たな遅延便対策について、関係機関と協議するとともに、地元調整を進めます。			
	（3）原田緑地整備・管理運営事業を進めるため、建設工事に着手し、令和7年（2026年）8月の一部開園、令和9年（2027年）3月の全面開園をめざします。また、千里川土手の建設工事に着手し、令和12年（2030年）4月までの供用開始をめざします。			
	（4）地域コミュニティ拠点施設の再整備プラン等に基づき、共同利用施設の再編方針について検討し、管理運営委員会との意見交換を進めます。また、学校やこども園の再編に伴う共同利用施設の再編を進めます。			
総合計画				
	3-1-（3）	環境汚染防止対策など生活環境の改善を進めます	3-4-（1）	地域特性を活かした都市の拠点づくりを進めます
基本政策				
	51	空港を活かしたまちづくり		

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など		スケジュール(工程)	
5	新・産業振興ビジョンに基づく取組みの推進		○令和6年度(2024年度) ・企業立地拡大を促進する施策を立案します。 ・デジタル地域ポイントの仕組みを充実します。 （決済ポイント還元事業の実施など） ・旧島田小学校跡地を活用した産業振興施設の運用を始めます。 ・アントレプレナーシップ養成につながる事業を展開します。 ○令和7年度(2025年度) ・企業立地拡大を促進する施策を実施します。 ・デジタル地域ポイントの仕組みのさらなる充実を図ります。 ・学びの多様化学校との連携等を見据えた産業振興施設の充実に取り組みます。 ・起業しやすい環境の整備に取り組みます。	
	以下の3つの基本方針に基づき、様々な施策を展開していきます。 （1）産業の集積をつくる （2）地域経済の好循環をつくる （3）まちに活力とにぎわいを生み出す （主な目標値） ①事業所数 平成28年(2016年)：13,044件⇒令和7年(2025年)：現状維持 ②事業所の付加価値額 平成28年(2016年)：6,080億4,000万円⇒令和7年(2025年)：増加 ③産業誘導区域内の工場・運輸系事業所床面積 平成28年(2016年)：699,136㎡⇒現状以上（立地適正化計画進捗確認時）			
	総合計画			
	3-5- (1)	地域産業を支援し、投資・消費・働く場が活性化するための体制をつくります		
	基本政策			
	50	デジタル地域ポイントの導入	54	産業誘導区域の集積推進
	55	域内産業の活性化	56	スタートアップ企業等への支援の充実
6	都市農業の振興		○令和6年度 現行計画（～令和11年度（2029年度））の実施 （主な取組） ①定期開催朝市・直売所 現行（9ヵ所）以上で実施 ②市民農園 目標値：26ヵ所 ○令和6年度 計画の中間見直し 市民及び農業者へアンケート調査、審議会、パブコメ実施 ○令和7年度、令和8年度 見直し後の計画に基づく取組みの実施	
	（1）都市農業振興基本計画に基づく取組みの推進 農業に親しむ機会の確保と豊中農業への一層の理解の促進等を図りながら、新たな担い手の発掘・育成にも取り組み、都市農地の保全と活用につなげます。 （主な目標値） ①定期開催朝市・直売所 目標値：7ヵ所→令和6年3月現在 9ヵ所 ②市民農園 目標値：26ヵ所→令和6年3月現在 20ヵ所			
	総合計画			
	3-1- (2)	自然環境や都市のみどりを身近に感じられる取組みを進めます		
	基本政策			
	59	地産地消の推進		